

第80期

# 中間報告書

平成25年4月1日～平成25年9月30日



北アルプス 瀬沢の秋

## 株主の皆さまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第80期第2四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）のご報告にあたり一言ご挨拶申し上げます。当期間におけるわが国経済は、全国的には「アベノミクス」効果による緩やかな回復基調となりましたが、米国の債務不履行問題等やや神経質な展開となり、特に当社グループの主な営業エリアである長野県では、引き続き景気回復も実感に欠ける状況で推移いたしました。

当社グループの主要事業でありますエネルギー業界におきましては、太陽光など再生可能エネルギー発電設備の設置が促進されておりますが、原子力発電所の再稼働問題等楽観を許さない状況もあり、国のエネルギー政策についてはなお注視して行く必要があります。

このような状況のもと当社グループは従来より提案してまいりました「エネルギーのベストミックス」により、LPガス・石油・太陽光発電等お客様の実情に即したトータルな提案営業を積極的に行い、エネルギー利用の高効率化を推進する一方、徹底したコスト削減と適正利益の確保に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、燃料類及び産業用太陽光発電設備の販売等が堅調に推移したことから、売上高は141億75百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

利益面におきましては、エネルギー関連事業においては、仕入価格の変動に応じた適正な販売価格の設定や、前期と比較してLPガスの仕入価格変動による売上原価への影響が軽微であり売上総利益が増加したこと、青果事業において利益改善が図られたこと、経費面では退職給付費用の減少を含め経費の圧縮等により利益の確保に努めたこと等から、営業利益は446百万円（前年同期比169.7%増）、経常利益は523百万円（前年同期比89.3%増）となりました。また、税金費用を控除した純利益は301百万円（前年同期比164.8%増）となりました。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



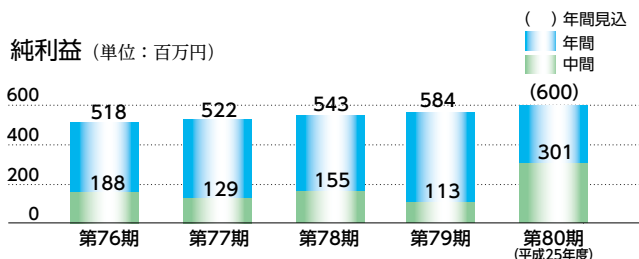
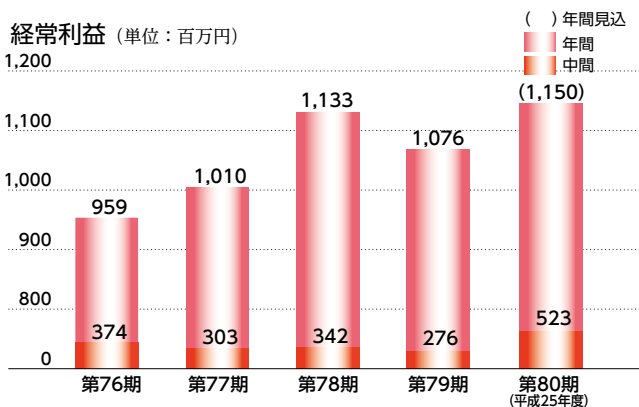
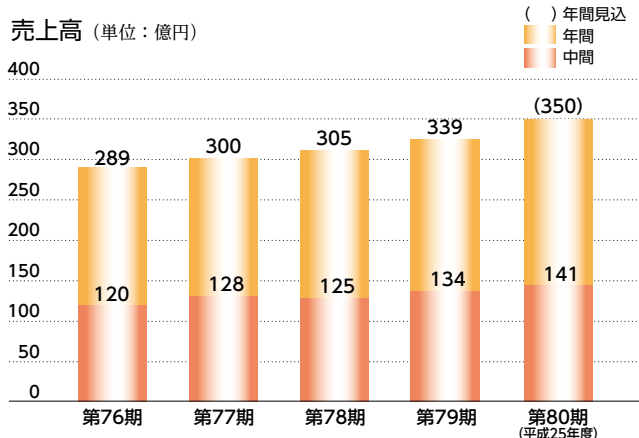
代表取締役社長

柳澤勝久

平成25年12月

# 営業の概況(連結)

## ■財務ハイライト



石油事業におきましては、景気回復の遅れによる需要の伸び悩み及び低燃費車の増加等を受けて、業者間の廉売競争がさらに熾烈化し、利益確保がますます厳しい状況で推移いたしました。この中で当社グループは、価格競争力と顧客サービスの向上を図りながら、販売数量の確保に努めました。

LPガス事業におきましては、販売店と一体となったキャンペーンを実施することにより、より環境にやさしいLPガスの利便性、経済性をお客様に理解していただく運動を展開するとともに、バルク供給化を引き続き推進してまいりました。

リフォーム事業では、社内で提案営業力アップを図るための研修や訓練を行い、よりお客様の立場に立ったトータルな営業展開を図ってまいりました。

また、環境事業におきましては、一層巨大な市場となっている太陽光発電システムの拡販及び自社施工体制の整備に努めるとともに、産業用発電システムによる売電事業にも本格参入をいたしております。

一方、当社事業の基本であります「LPガス消費者保安」につきましては、自己完結型の自主保安体制強化に引き続き努めており、高度保安実施事業者としての「液化石油ガス認定販売事業者」の地位を堅持しております。

# 財務指標

## 四半期連結貸借対照表(要旨)

当第2四半期末(平成25年9月30日現在)  
前期末(平成25年3月31日現在)

	(単位:百万円)		(単位:百万円)	
	当第2四半期末	前期末	当第2四半期末	前期末
<b>資産の部</b>				
<b>流動資産</b>	<b>9,178</b>	<b>10,767</b>	<b>6,063</b>	<b>6,794</b>
現金及び預金	4,152	4,857	2,241	2,706
受取手形及び売掛金	2,921	3,990	3,044	3,033
商品及び製品	1,627	1,371	37	79
仕掛品	24	11	149	124
原材料及び貯蔵品	243	222	156	239
繰延税金資産	115	148	435	609
その他	100	191		
貸倒引当金	△ 8	△ 27		
<b>固定資産</b>	<b>12,793</b>	<b>11,810</b>	<b>1,453</b>	<b>1,455</b>
有形固定資産	<b>8,533</b>	<b>8,529</b>	136	123
無形固定資産	<b>194</b>	<b>224</b>	877	917
投資その他の資産	<b>4,065</b>	<b>3,056</b>	154	142
投資有価証券	3,445	2,412	23	23
繰延税金資産	249	269	77	68
差入保証金	239	248	183	179
その他	207	206		
貸倒引当金	△ 77	△ 81		
			<b>負債の部</b>	
			<b>流動負債</b>	
			支払手形及び買掛金	2,241
			短期借入金	3,044
			1年内返済予定の長期借入金	37
			未払法人税等	149
			賞与引当金	156
			その他	435
			<b>固定負債</b>	<b>1,453</b>
			長期借入金	136
			退職給付引当金	877
			役員退職慰労引当金	154
			資産除去債務	23
			繰延税金負債	77
			その他	183
			<b>負債合計</b>	<b>7,517</b>
			<b>純資産の部</b>	
			<b>株主資本</b>	<b>14,281</b>
			資本金	1,512
			資本剰余金	1,245
			利益剰余金	11,530
			自己株式	△ 8
			その他の包括利益累計額	145
			その他有価証券評価差額金	145
			少数株主持分	27
			<b>純資産合計</b>	<b>14,454</b>
<b>資産合計</b>	<b>21,971</b>	<b>22,577</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>21,971</b>

# 財務指標

## 四半期連結損益計算書(要旨)

(第2四半期連結累計期間)

当第2四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)  
前第2四半期累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)

(単位:百万円)

	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間
売上高	14,175	13,460
売上原価	11,024	10,436
売上総利益	3,150	3,023
販売費及び一般管理費	2,704	2,858
営業利益	446	165
営業外収益	93	127
営業外費用	15	16
経常利益	523	276
特別利益	9	9
特別損失	16	50
税金等調整前四半期純利益	515	235
法人税等	214	121
少数株主損益調整前四半期純利益	301	113
少数株主損失	△0	△0
四半期純利益	301	113

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

当第2四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)  
前第2四半期累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)

(単位:百万円)

	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	760	780
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,072	△203
財務活動によるキャッシュ・フロー	△239	70
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,512	3,486



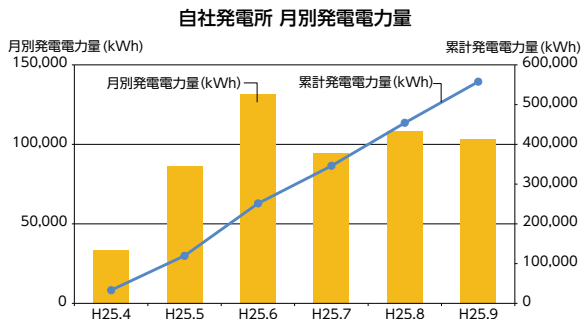
# トピックス

## ◆太陽光発電システムによる環境貢献

当社は2012年から太陽光発電システムを導入しています。2013年9月30日現在、4箇所の自家発電所での発電能力は合計で806.84kWであり、毎日一般家庭約226軒分(1日約2,600 kWh)\*1の電気を作っています。年間では原油ドラム缶約900本分、二酸化炭素約250tを削減していることとなります\*2。

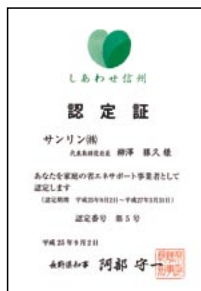


写真は自社物件第4号サンリン千曲発電所で、2013年4月より稼働しております。



- \*1 「一般家庭の平均年間電力消費量」は4,209kWh/年 (省エネルギーセンター：待機時消費電力調査報告書による)
- \*2 太陽電池による原油、CO<sub>2</sub>削減効果  
1kWシステム当たり年間で原油227L、二酸化炭素314.5kgで換算(太陽光発電協会による)

## ◆長野県の省エネサポート事業者に認定



当社は、長野県が推進する「家庭の省エネサポート制度」のサポート事業者に認定されました。これは、省エネに関する疑問や家庭で使用しているエネルギー（電気・ガス・ガソリンなど）のお得な使い方などを、県による養成研修を修了した「省エネアドバイザー」が無料でお答えする制度です。

当社は14名の省エネアドバイザーを擁し、日々活動にあたっております。



## ◆アルピコグループの筆頭株主に

このたび当社は、当社と同様に長野県に基盤を置き、「生活関連総合企業」として事業展開を行っているアルピコグループの持株会社であるアルピコホールディングス株式会社の株式の一部を引き受け、同社の筆頭株主となりました。これからは事業協調等を通じ、お互いの企業力の向上を図るとともに、長野県の地域経済の維持発展に寄与してまいります。

## 株式の状況 (平成25年9月30日現在)

### ■株式の状況

① 発行可能株式総数	40,000,000株
② 発行済株式の総数	12,300,000株
③ 1単元の株式の数	1,000株
④ 株主数	698名

### ■上位株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社ミツログループホールディングス	1,676	13.6
リンナイ株式会社	712	5.8
等々力正敏	614	5.0
曾根原充夫	594	4.8
株式会社八十二銀行	575	4.7
東燃ゼネラル石油株式会社	500	4.1
株式会社長野銀行	458	3.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (管理信託口79212)	352	2.9
須澤孝雄	346	2.8
長野県信用農業協同組合連合会	225	1.8

(注) 出資比率は、自己株式16千株を控除して計算しております。

### ■分布状況

所有者別の株式分布状況

所有者	持株数(千株)	出資比率(%)
個人・その他	6,762	55.0
金融機関	2,109	17.1
その他の国内法人	3,407	27.7
自己株式	16	0.1
その他	5	0.0

## 会社の概要 (平成25年9月30日現在)

- 社名/サンリン株式会社
- 設立/昭和9年12月19日
- 資本金/15億1,280万円
- 従業員数/484名(グループ人員)
- 事業の内容/石油製品、LPガス、一般高圧ガスおよび住設機器の販売、煉炭・豆炭の製造販売

### ■役員の状況 (平成25年9月30日現在)

代表取締役社長	柳澤勝久
専務取締役	川窪磯男
常務取締役	寺澤久水
常務取締役	大槻清人
取締役	田島晃規
取締役	塩原平男
取締役	茂木誠充
取締役	須澤孝
取締役	高野朗
常勤監査役	坂内富夫
常勤監査役	川岸隆
監査役	山根伸右(社外監査役)
監査役	神澤正哲(社外監査役)

### ■子会社等 (平成25年9月30日現在)

- 三鱗運送株式会社(一般貨物自動車運送事業、貨物運送取扱事業)
- ウロコ興業株式会社(管工事業)
- 富山サンリン株式会社(燃料等卸小売業)
- サンエネック株式会社(LPガス容器等賃貸業、保険・不動産業)
- 上伊那ガス燃料株式会社(LPガス充填業務)
- サンリン松本エネルギー株式会社(燃料等卸小売業)
- 田中製氷冷凍株式会社(氷製造卸、冷蔵倉庫業)
- 株式会社一実屋(青果卸売業)
- 新潟サンリン株式会社(燃料等卸小売業)

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	毎年3月31日（ただし、中間配当を行う場合は9月30日）
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
上場証券取引所 公告の方法	東京証券取引所JASDAQ市場 電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.sanrinko.co.jp/">http://www.sanrinko.co.jp/</a> （ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

### 【お 知 ら せ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 営業拠点



UD FONT  
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

この報告書は、環境に優しい植物油インキを  
使用して印刷しています。